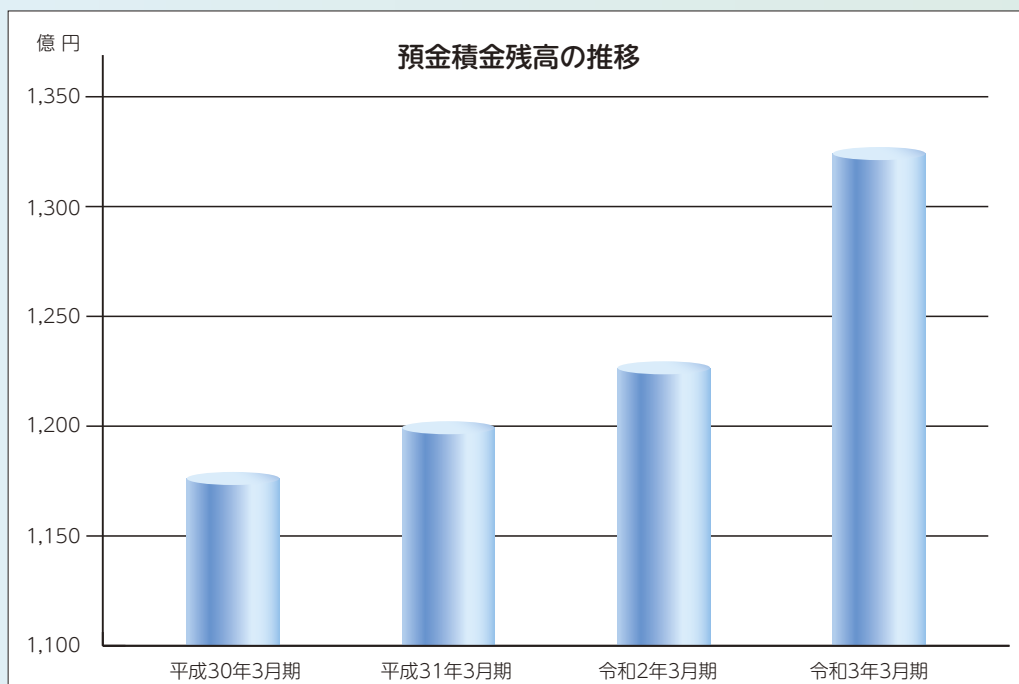


令和2年度の事業概況

令和2年度は第3次経営強化計画の初年度として、地域の皆様への安定的な金融仲介機能強化と収益性改善に向け、役職員が一丸となって取組んでまいりました。このような中、新型コロナウイルス対策資金等お取引先様の資金繰り支援に積極的に取組んだこと等により、貸出金は引き続き大幅な増加となるとともに、預金積金についても大幅な増加となりました。この結果、市場金利の低迷等により余資運用収益の減少等はありませんでしたが、資金利益は12百万円増加することができました。加えて、経費の削減に努めたこと等により、「コア業務純益」は209百万円を確保することができました。また、当期純利益は価格下落の著しい有価証券の売却を実施したことにより、前期比41百万円減少の221百万円となりました。これからもお取引先の皆様への感謝の気持ちを第一に、より一層信頼される金融機関となるべく役職員全員で取組んでまいります。

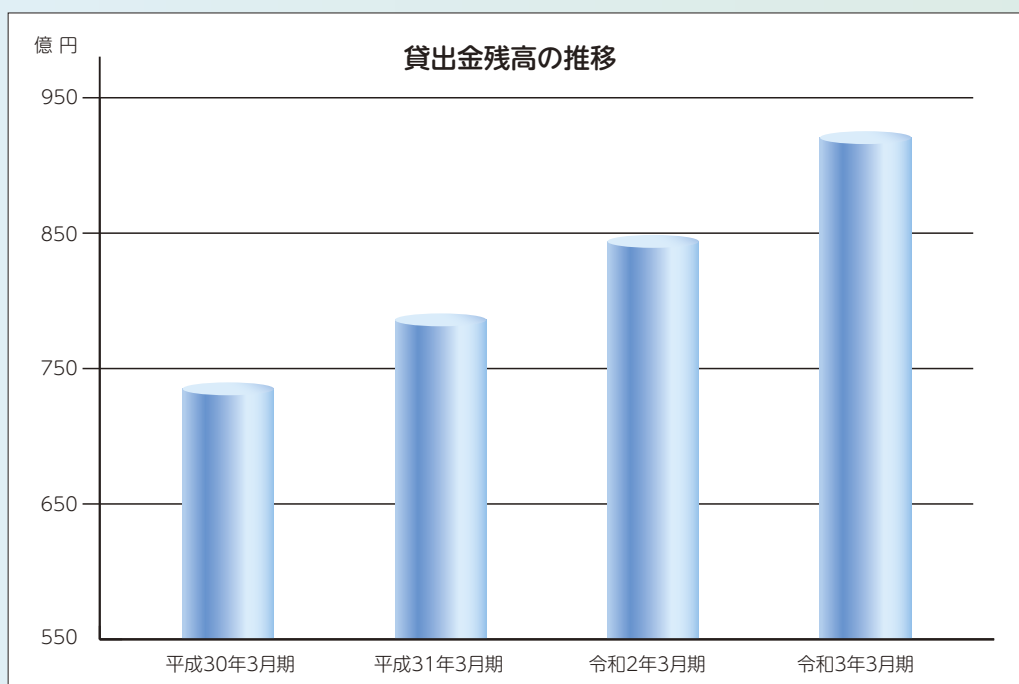
(1) 預金

令和2年度の期末預金残高は、1,324億円と前期末比97億円の増加となりました。



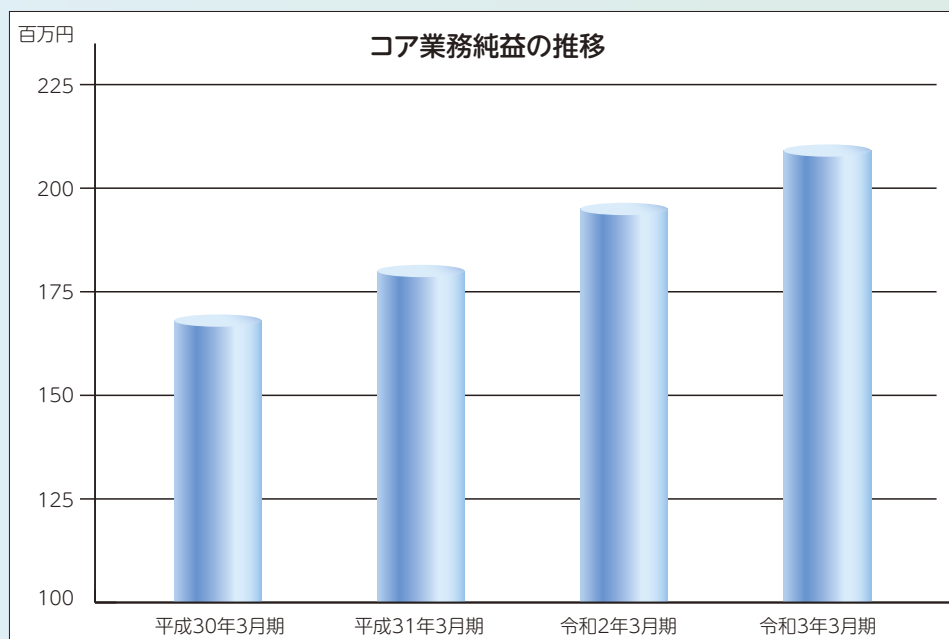
(2) 貸出金

役職員一丸となって、推進活動に努め、貸出金期末残高は、前期末比76億円増加の920億円となりました。



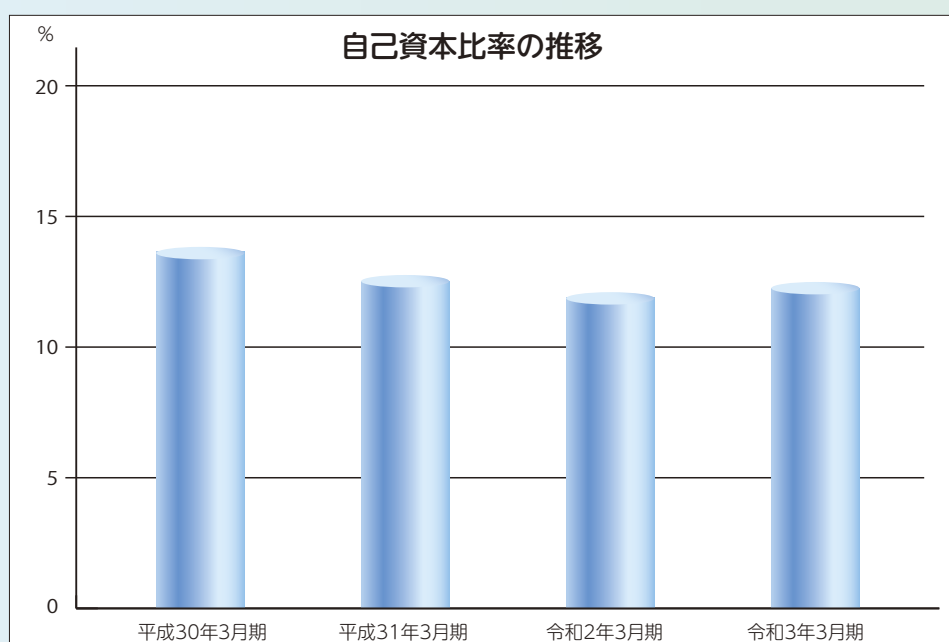
(3)コア業務純益

市場金利の低迷が続きますが、貸出金の増強と経費削減に努めたことより、「コア業務純益」は209百万円を確保することができました。



(4)自己資本比率

平成26年12月に公的資本90億円の注入を受けており、令和3年3月期の自己資本比率は12.24%と、健全性の基準である4%を大幅に上回っております。



主な経営指標の推移

(金額単位：百万円)

	平成30年3月期	平成31年3月期	令和2年3月期	令和3年3月期
預金積金残高	117,635	119,952	122,622	132,403
出資金残高	8,082	8,083	8,084	8,086
貸出金残高	73,508	78,591	84,403	92,051
有価証券残高	25,214	29,505	27,821	24,815
資金利益	1,624	1,604	1,615	1,628
業務純益	150	179	191	151
コア業務純益	168	180	195	209
当期純利益	367	386	263	221
単体自己資本比率(%)	13.66	12.50	11.88	12.24